

## よくあるご質問

**Q** アドバイザー制度はどのタイミングで使うのが良いですか？

**A** 皆様のタイミングでご利用ください。これから居場所を立ち上げようと考えている方でも、既に居場所を開設している方でもご利用可能です。  
こどもの居場所づくりでは、同じ居場所は一つもなく、子どもたちの安心・安全を守るための最低限のルール以外は、運営者の思いを形にしています。皆様の自主性、多様性がキーワードとなっています。  
アドバイザー制度を利用いただき、皆様の思い描くこどもの居場所を少しでも心配や不安がない状態で形にし、無理なく持続的に運営をしていただきたいと思います。

**Q** こどもの居場所活動への支援を考えていますが、どんなことができますか？

**A** 食材や物資の提供、活動場所や保管場所、運送手段の提供、ボランティア活動、金銭の寄付など様々です。

**Q** フードパントリーとは？

**A** ひとり親世帯など、様々な理由で生活に困っている家庭に対して、食品を無料で配付する活動です。

**Q** フードバンクとは？

**A** 食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、必要としている施設や団体、困窮世帯に無料で提供する活動です。

**Q** フードドライブとは？

**A** 店舗や一般家庭で余っている食品を集めて、地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付する活動です。



**Q** 学習支援とは？

**A** 経済的な理由などで有料の塾に通えない子どもたちのために、無料または低額で勉強を教える活動。勉強を教えるだけでなく、食事提供や家庭訪問を行うこともあります。

**Q** プレーパークとは？

**A** 「冒険遊び場」とも呼ばれ、遊具で遊ぶだけでなく、子どもたちが自由に遊べる場所です。ロープやのこぎりを使ったり、穴を掘ったり、焚き木で料理したり、自分の力で遊びを作り上げていきます。

**Q** 会社員をやりながらでもできることがありますか？

**A** 会社員の方で子どもの居場所づくりに関わっている人はたくさんいます。近所で開催している子どもの居場所にボランティアとして参加することも立派な活動ですし、食材や物資の寄付なども大変ありがたい支援です。もし自身で居場所を運営する場合、無理をしないように、月1回程度の開催から始めるのもいいと思います。子どもたちのためにも、細くても長く続けられることが最も大切です。

**Q** 助成金の情報について教えてください。

**A** ●子ども食堂・未来応援基金  
子どもの貧困の解決を図るため、子ども食堂や無料塾、プレーパーク等の子どもの居場所に助成しています。

●浦和競馬子ども基金  
経済的な事情や虐待、障害や病気などによる様々な困難を抱えながら頑張る子どもたちの「生きる力」をはぐくむ活動に助成を行っています。

●ひまわり基金  
県内の地域福祉活動を積極的に推進する団体などが行う創意工夫のある活動に助成を行っています。

申請のタイミングや、どんな団体でどんな運営をしていたら申請が通って、助成金をもらえるのか等の具体的な相談に関しましては、ぜひアドバイザー派遣制度をご利用ください。



**Q** 一人で開設手続き、運営はできますか？

**A** 不可能ではないですが、こどもの居場所の運営には、計画作成、食品の管理、調理、広報、会計、保険手続きなど、一定の事務があります。またこどもたちにとっても、関わる大人が多いほど、目指すロールモデルの選択肢が増えます。ぜひ、思いを共有し、共に活動する仲間を作ることをおすすめします。

**Q** 居場所を開設したらどこかに申請する必要がありますか？

**A** 居場所開設の申請は必要ありません。食品を扱うのであれば、食品衛生責任者の資格などの取得を強く推奨しています。その他、万が一に備えた保険や、緊急連絡先リストの作成など、安心安全のためのポイントがあります。

**Q** ボランティアの募集はどのようにしたらいいですか？

**A** ボランティア情報が掲載されている

- 埼玉県ボランティア・市民活動センター  
(<http://www.fukushi-saitama.or.jp/site/volunteer/>)
- 彩の国市民活動センター  
(<https://www.iki-iki-saitama.jp/kenkatsu/saisapo/>)
- ボランティアウェブ (<https://www.philanthropy.or.jp/vweb/>)

など活用してみてください。または、アドバイザーに相談してください。

**Q** こどもの居場所で使用している場所は主にどんな場所がありますか？

**A** 公共施設が多いですが、アパートを借りる方や個人宅、高齢者施設、病院、お寺など様々です。

**Q** 他の居場所はどのように運営しているのかなど、もっと深く知りたい場合にはどうすれば良いでしょうか？

**A** 「こどもの居場所づくり事例集 ([https://kodomoouen.pref.saitama.lg.jp/assets/pdf/jireisyu\\_r4.pdf](https://kodomoouen.pref.saitama.lg.jp/assets/pdf/jireisyu_r4.pdf))」をご覧ください。  
また、実地研修をご利用いただくと、実際に活動している場所を見学することができます。